

## 1. 指導内容(指導事項)を確認する ……「学習指導要領解説」を読みましょう！

- 指導すべき内容を指導者が分かっていなければ、子どもに力をつけることはできません。
- 「学習指導要領解説」には、下のように指導内容が示されています。
- アは、知識及び技能です。イは、思考力、判断力、表現力等です。



(例) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。

イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

※主体的に学習に取り組む態度については、技術分野の目標(3)に記載されている事柄を参考にします。

## 2. 題材の目標を設定する ……題材でどんな力をつけるのか明確にしましょう！

- 指導内容をしっかり理解した上で、題材の目標を設定します。
- 学習指導要領解説の各内容の最初に示されたねらいを参考にし、下のような4つの構成で作成します。



(学習活動)	材料と加工の技術の見方・考え方を働かせ、より安全な生活を目指した耐震補強器具を開発する実践的・体験的な活動を通して、
(知識・技能)	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解を深めるとともに、
(思考・判断・表現)	生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、
(主体的に学習に取り組む態度)	安全な生活や社会の実現に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 3. 題材の評価規準を設定する ……評価のための判断のよりどころを決めよう！

- 「技術分野の評価の観点の趣旨」に、「内容のまとめりごとの評価規準」や「題材の目標及び題材で指導する内容」を加えて設定します。



技術分野の評価の観点の趣旨



「内容のまとめりごとの評価規準」  
「題材の目標及び題材で指導する内容」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な生活や社会の実現を目指して材料と加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。	安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

## 4. 題材の指導と評価の計画を作成する

内容のまとめりごとの評価規準例		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	① 材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	③ 主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。	② 材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	④ よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。

内容のまとめりごとの評価規準例を学習指導要領解説等の内容を参考に具体化します。

内容のまとめりごとの評価規準例を具体化したものを学習活動に応じて具体化、整理・統合します。

▼ この内容を題材の指導と評価の計画に記載します。

題材の指導と評価の計画(例) (全20時間) A 材料と加工の技術によって、安全な生活の実現を目指そう

時間 指導事項	学習活動	評価規準 ◆評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 2 A(1) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間の学習の見通しをもつ。</li> <li>社会や生活で使用されている耐震補強器具について調べる。</li> </ul>	<p>①～④の番号は、内容のまとめりごとの評価規準例の番号に対応しています。</p>	<p>① 耐震補強器具に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。</p> <p>◆ワークシート</p>	<p>③ 進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。</p> <p>◆ワークシート</p>
20 A(3) イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>より安全な生活や社会を実現する材料と加工の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。</li> </ul>		<p>② 安全な生活や社会の実現を目指して、材料と加工の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の仕方について考えをまとめることができる。</p> <p>◆ワークシート</p>	<p>④ 安全な生活や社会の実現に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとしている。</p> <p>◆ワークシート(振り返り)</p>

## 5. 題材の指導と評価の計画をもとに、本時の評価規準を設定する

○本時の評価規準は、題材の指導と評価の計画に設定したものを、そのまま使用します。  
○努力を要する生徒への手立てを想定しておくことが大切です。



評価の観点	おおむね満足できる(B)	努力を要する生徒への手立て
思考・判断・表現	安全な生活や社会の実現を目指して、材料と加工の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の仕方について考えをまとめることができる。	材料と加工の技術の評価し、適切な選択、管理・運用の仕方について具体例を提示し、助言・指導をする。